

発行日 2002年11月1日
発行元 株式会社
オリジン・コーポレーション
代表取締役：杉井保之
〒426-0044 静岡県藤枝市大東町777-1
TEL 054-636-4300 FAX 054-636-6187
E mail origin@ck.tnc.ne.jp

こおろぎ

日本人よ ありがとう

かつて日本人は 清らかで美しかった。
 かつて日本人は 親切でこころ豊かだった。
 アジアの国の誰にでも
 自分のことのように 一生懸命つくしてくれた。

何千万人もの 人のなかには
 少しは 変な人もいたし
 おこりんばや わがままな人もいた
 自分の考えを おしつけて
 いばってばかりいる人だって いなかったわけじゃない

でも、その頃の日本人は
 そんな少しのいやなことや 不愉快さを越えて
 おおらかに まじめで 希望に満ちて明るかった

戦後の日本人は
 自分たち日本人のことを 悪者だと思込まされた
 学校でも ジャーナリズムも
 そうだとしか教えなかったから
 まじめに
 自分たちの父母や先輩は
 悪いことばかりした残酷無情な
 ひどい人たちだと 思っているようだ

だから アジアの国に行ったら
 ひたすらべこべこあやまって
 私たちはそんなことしていませんと
 言えばよいと思っている

そのくせ 経済力がついてきて 技術が向上してくると
 自分の国や自分までが えらいと思うようになってきて
 うわべや 口先では 済まなかった悪かったと言いながら
 ひとりよがりの 自分本位の えらそうな態度をする
 そんな 今の日本人が 心配だ

本当に どうなっちゃったんだろう
 日本人は そんなはずじゃなかったのに
 本当の日本人を知っているわたしたちは
 今は いつも 歯がゆくて くやしい思いがする

自分のことや 自分の会社の利益ばかり考えて
 こせこせと 身勝手な行動ばかりしている
 ヒョロヒョロの日本人は これが本当の日本人なのだろうか

自分たちだけで 集まっては
 自分たちだけの たのしみや ぜいたくに ふけりながら
 自分がお世話になって住んでいる
 自分の会社が仕事をしている
 その国と 国民のことを さげすんだ眼でみたり
 バカにしたりする

こんなひとたちと 本当に仲よくしてゆけるだろうか
 どうして
 どうして日本人は こんなになってしまったんだ

この詩は、若い頃、日本に留学し、その後、第二次大戦後マレーシアの独立戦争に参加して、上院議員となられた「ラジャー・ダト・ノンチックさん」が1989年4月に書かれた詩です。
 ノンチックさんは、すでにお亡くなりになっていますが、今の日本を見たらどう思われるでしょう？

日本人

先日、札幌のあるお店が外国産の牛肉を「国内産」と偽って販売したため、販売金額を払い戻すことになったのをご存じの方も多と思います。

その結果、1,000人以上の人がお店に押しかけ、払い戻し対象額1,380万円の3.5倍に相当する4,798万円を払い戻す大騒動となったのです。

企業も市民もどうしてしまったのでしょうか？

決して悲観的なことを言うつもりではありませんが、私は日本の経済はこれからも良くなると思いません。「景気の持ち直し」を期待する人も多いと思いますが、良くなることを覚悟で始めなければ、景気よりも大切なものを失ってしまうと思うのです。

日本は元々資源のない国です。その資源のない国が、資源のある他の国より、どうしてこんなに豊かになれたのでしょうか？

資源の貧しい国であったからこそ「やおよろず」という考え方が生まれ、箸や茶碗、刀や川にまで名前を付けて、すべてのモノを大事にしたり、他人に嫌われないように生きる「恥の文化」が育ったのだと思います。そうした「謙虚さ」と「勤勉さ」に支えられて日本は豊かになったのではないのでしょうか？

しかし、今の日本は豊かになったことにあぐらをかいて、自分のわがままを平気で主張したり、自分は自分の力だけで生きていると錯覚した高慢な人が増えてしまった気がしてなりません。

私が子どもの頃、私の母は周りから生活保護を勧められても、絶対に受けようとはしませんでした。生活保護を受けることは決して恥ずかしいことではありませんが、中にはウソの離婚をしてまで生活保護を受け、外車に乗っている人さえいるのが実情です。

では私はどうなのでしょう？ そこまでではないにしろ必要以上の無駄をしていないか？ わがままを主張したり、高慢になっていないかと考えたときノンチックさんの詩が心に刺さります。

かつて日本人は 清らかで美しかった。
 かつて日本人は 親切でこころ豊かだった。

最近では、サッカーのワールドカップでもなければ、自分が日本人だということを忘れている人が多くなっているかもしれませんが、国際化が進めば進むほど、これまで以上に私たちは「日本人」として見られていくのです。

お便りコーナー

☆☆ お便りコーナー ☆☆☆

「こころの時代」同感です。年々本校に入学して来る生徒も幼稚になって来ているように思います。すぐ「ムカツク！」と言いつつ感情の赴くままに行動しています。

「言いたいことを言い、着たいものを着、したいことをして何が悪いのか！」と言いたげです。

「ゆとり教育」には本校の教員は賛同しておられませんでした。「何が大切か？」を考えて行動していきたいと思えます。

CLの研修ありがとうございました。
 教育法の国際ライセンスを得るために学校を休んで受講した訳ですが、寝具の整頓に気を遣ったり、自分のたてる音に気を配ったりと、自分自身の行動への課題が多いのに驚かされました。

実際にやってみると、いかに自分が自分のやりたいやりかたで生きているかが分かるものですね。教育に足りなかったのは、こうした私の実践だと思えました。一人の親としても、言うこと（知っていること）とやっていることを一緒にしていきます。